



NPO 法人 つくば環境フォーラム

令和3年度 活動報告

特定非営利活動法人（NPO 法人）「つくば環境フォーラム」は、つくば周辺地域の環境をよりよい形で未来世代に引き継ぐことを目的に、地域の環境の調査・研究・保全事業、環境教育事業、連携促進、情報の収集・発信、環境に配慮したまちづくりへの提言活動を展開しています。令和3年度は以下の活動を行いました。

1. 環境の調査・研究・保全事業

1-1. オオムラサキの棲む里山づくり 参加者計 のべ 462 名

平成 14 年より、良好な里山の象徴としての国蝶オオムラサキが棲み続けられるよう、つくば市下平塚にて雑木林の保全・再生事業を展開しています。開発事業終了後に新たにできた市街地に隣接して、民有林と県有地合わせて約 21ha の里山の自然が残っています。民有地での活動を自主事業として、県有地での活動を茨城県からの委託事業として取り組んでいます。オオムラサキをはじめとする生物の多様性が保たれる里山の手入れを行い、子どもたちが身近な自然とふれあい学ぶ場として活用することをめざして、保全活動・体験活動を行いました。

・森づくりボランティア

民有林では平成 15 年より森づくりボランティアを継続しています。近隣のロケーションビレッジの住民の皆さんの参加、つくば薪クラブとの連携等で、里山の雑木林の手入れ、間伐などの活動を行うことができました。また、11 月、12 月には筑波学院大の学生インターンが参加しました。9 回実施し、のべ 91 名が参加。活動開始より通算 176 回の活動となりました。

実施日	参加者数
7 月 17 日	22 名
7 月 22 日	16 名
8 月 21 日	3 名
8 月 29 日	19 名
11 月 6 日	9 名
12 月 11 日	9 名
1 月 22 日	5 名
2 月 12 日	4 名
3 月 19 日	4 名



ロケーションビレッジの皆さん 雑木の間伐(ワンダーと合同) 筑波学院大の皆さん

・里山子どもワンダーランド探検隊

親子の自然体験プログラムを 11 回計画、うち 11 回を開催し、自然観察、森の手入れ体験、森の落ち葉の循環を学ぶ畑の活動などを行いました。のべ 371 名参加。活動を支えたスタッフ・ボランティアはのべ 52 名でした。

実施日	参加者数
4 月 25 日	46 名
6 月 12 日	44 名
7 月 10 日	43 名
8 月 7 日	19 名
9 月 11 日	29 名
10 月 16 日	36 名
11 月 6 日	21 名
12 月 11 日	38 名
1 月 22 日	33 名
2 月 12 日	27 名
3 月 19 日	35 名



森の観察と手入れ体験 竹を切って水鉄砲づくり

1-2. 葛城大規模緑地利活用事業（茨城県委託事業）

参加者計 のべ 847 名

市街地に隣接して残された葛城大規模緑地（県有地）14ha は、自然環境を保全しつつつ利用することをめざして官民協働で整備中の里山です。この事業は、当 NPO と一般財団法人つくば都市交通センターの連合体で茨城県から委託を受け実施しました。平成 27 年に設立された「葛城里山クラブ」の会員の皆さんと活動しました。活動は、新型コロナウイルス感染症防止対策をとって行いました。「里山散歩」では自由散歩を基本として 7 回実施（のべ 223 名参加）、新型コロナウイルス感染症のため、8、9、2、3 月が中止となりました。植樹地の手入れ活動

「朝ボラ」を6～9月に4回計画して2回実施、**22名**が参加しました。5/9交流会を開催**47名**が参加して、森に親しみ、新たな活動の企画を相談しました。会員が企画するプロジェクトは「やってみよう！身近な森育て体験」となりましたが、イノシシの出没とコロナ拡大で中止となってしまいました。

緑地の植物調査や保全活動を「植生ボランティア」(登録者13名)のべ**62名**とスタッフ**48名**で18回行い、調査、希少種保全、ナラ枯れ被害対応などを行いました。また、里山の環境維持管理活動は刈払い機やチェーンソーの講習を受けた「葛城フォレスター」とスタッフが有償で担い、草刈りや間伐作業を行いました(作業日数40日、のべ**445名**)。なお、葛城里山クラブは登録会員664名2団体で森を見守るファンが年々増えています。



里山散歩・自由散策(4月) 交流会(5月) 交流会での意見交換 フクロウ巣箱の手入れ(1月)



里山散歩・湿地整備(6月) 昼ボラ外来植物駆除(12月) 茅刈り(1月) ナラ枯れ被害木対応



フォレスター 湿地草刈り 夏場の刈り払い作業 植生ボランティア希少種保全 ナラ枯れ被害確認調査

1-3. 筑波山麓谷津田再生事業) 参加者計 のべ**947名**

筑波山のふもと神郡にある自然豊かな谷津田を存続させるために始めた沢水を利用した米づくりは、今年で16年目になりました。ホタルやホトケドジョウなど絶滅危惧種がみられ、サシバやサンコウチョウなどの夏鳥が子育てしています。0.8haの谷津田と周辺の里山林とのつながりが、豊かな自然を育てています。今年度は体験付きオーナーに31組の家族が登録し、コロナ対応のため、田植えは5/4に3か所に分かれて、稲刈りは10月に3日に分けて行いました。田んぼボランティアの皆さんの働きで、雑草を抑え、イノシシにも侵入されずに無事収穫を迎えることができました。収穫祭は広い田んぼで、それぞれ竹でご飯を炊いて楽しみました。

・谷津田の米づくり 参加者のべ**345名**

実施日	テーマ	参加者数
5月4日	田植え	85名
5月5日	田植え	2名
6月12日	ホタル観察会	92名
9月19日	稲刈り	30名
10月2日	稲刈り	27名
10月3日	稲刈り	36名
10月30日	収穫祭	73名



体験付きオーナーの田植え 収穫祭は田んぼで竹ご飯

- ・体験付きオーナーの「谷津田の米づくり」活動を担ったスタッフはのべ 64 名でした。
- ・31 名（62 口）の支援者の皆さんに資金の協力をさせていただきました。
- ・企業オーナーの野村不動産㈱の田植え・稲刈りイベントは新型コロナウイルス感染症のため中止となりました。
- ・メタウォーター㈱も昨年に引き続き田んぼの企業オーナーとなりましたが、体験イベントは中止でした。
- ・田んぼボランティアなど 49 名の方が参加し、冬場の田んぼと森の手入れにのべ 190 名、春からの米づくり活動にのべ 304 名が参加しました。2/27 には「水源の森づくり」活動を行い、13 名が参加しました。



除草機での草取り 生きもの観察会 水のパイプを設置 稲刈り おだがけした稲

1-4. その他の調査活動 参加者計 のべ 53 名

「茨城県内ブナ調査」 （ミュージアムパーク茨城県自然博物館委託事業）のべ 45 名

- ①筑波山におけるブナの結実調査 ②筑波山の刈払い地の植生モニタリング調査
③茨城県内のブナ・イヌブナの分布調査 を研究者、協力者の方々と行いました。

「つくば市自然文化財基本調査」（つくば市委託事業）のべ 8 名

つくば市文化財課の依頼を受けて平成 27～令和元年度に行ったつくば市内の巨樹等自然文化財の調査をまとめ、選定木について再調査を行いました。



植生モニタリング調査

2. 環境教育推進事業

2-1. 筑波山ファンクラブ 参加者計 のべ 69 名

実施日	テーマ	参加総数
4 月 18 日	裏筑波のカタクリと早春の植物	9 名
5 月 2 日	朝日峠～雪入山 新緑ハイク	10 名
6 月 6 日	筑波山・自然研究路の植物観察	9 名
7 月 4 日	筑波山麓・初夏の自然観察	中止
8 月 1 日	筑波山・自然研究路の植物観察	8 名
9 月 5 日	筑波山つくば市有林の観察会	10 名
10 月 17 日	筑波山・広根場林道の自然観察	中止
11 月 28 日	雨引山周辺～紅葉ハイク	11 名
12 月 19 日	薬王院の照葉樹林とつくし湖の野鳥観察	12 名
1 月 23 日	茨城県自然博物館菅生沼野焼き協力	中止
2 月 20 日	筑波山麓を歩く	中止
3 月 27 日	宝篋山・早春のスミレ	中止

筑波山の豊かな自然を守り育てる人の輪が広がることをめざし、12 回の観察会や調査活動を計画しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響や担当者の体調不調などで 5 回が中止となり、7 回の実施となりました。毎回の観察会の記録をカラーの「筑波山便り」として発行し、ファンクラブ登録メンバーに送付しました。2021 年度のメンバー登録者は 87 名でした。



4 月カタクリの観察と調査 5 月雪入山 9 月つくば市筑波山市有林 12 月つくし湖野鳥観察

2-2. 筑波山自然環境教育事業（つくば市委託事業） 参加者計48名

つくば市環境政策課が主催する市内の自然環境を学ぶ講座の企画・運営の委託を受け、今年度は子どもたち中心の生きもの調査活動を市内2カ所の里山で計画しました。第1回目は葛城大規模緑地で小学3年生以上の子どもたちを2チームに分けて雑木林や湿地周りの調査を行い、捕まえた生きものを森の中で観察・スケッチし生きものの仲間わけや、棲みか、生きもの同士のつながりなどを学びました（調査記録138種類）。第2回目はすそみの田んぼに親子で集まり、稲刈り後の田んぼや水路、池などで生きもの調査を行い、102種類を記録しました。活動を支えたスタッフはのべ7名でした。

実施日	テーマ	実施場所	参加者数
7月24日（土）	里山の生きもの調査	葛城地区大規模緑地	25名
10月24日（日）	谷津田の生きもの調査	筑波山麓「すそみの田んぼ」	16名



7月 雑木林で生きもの探し 仲間わけしてボードに記録 10月 田んぼで生きもの探し 池で観察

2-3. しぜんっこくらぶ in ゆかりの森 参加者計 のべ 671名

幼児とお母さんのための自然体験教室を豊里ゆかりの森で平成14年度より、毎年実施しています。年間登録制で月に2クラス（水曜日及び金曜日クラス、各20組）を募集して行いました。各クラス年間10回、合計20回の活動を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により9月の回を中止とし、以後は感染症対策をとって、計18回を実施しました。幼児期の貴重な体験である自然との出会いをなくさないように、プログラムの変更等で3密を避け、活動を継続しました。

お母さんたちにとっても、野外での活動は日頃のストレスを発散し、子どもとゆっくり向き合える時間となったようです。この活動では、以前の参加者である「しぜんっこ修了生」のお母さんがボランティアとして協力し、様々な活動ができません残念でした（調理スタッフが衛生に配慮して作り個別に配布しました）。イベントへの参加者数はのべ483名、活動を支えたスタッフ・ボランティアはのべ188名でした。

水曜・金曜クラス	テーマ	参加者数
5月19日・21日	新緑の森へいこう！	50名
6月9日・11日	じゃがいも掘りとネイチャービンゴ	66名
7月7日・9日	夏の生きもの探検隊！～ザリガニ釣り体験	60名
9月8日・10日	生き物いっぱい！！	中止
10月13日・15日	秋の森の宝さがし～お月見飾り	50名
11月10日・12日	♪森でフェスティバル♪インディアンになって踊ろう	62名
12月8日・10日	☆森のクリスマス☆	48名
1月12日・14日	春の七草をさがそう！～七草がゆ	44名
3月2日・4日	冬の運動会	52名
3月9日・11日	春を見つけよう！～よもぎ団子	51名



5月 森の観察 7月 ザリガニマンが登場！ 11月 インディアンハット 3月 落ち葉のベッド

2-4. つくば里山楽しみ隊 in 高崎自然の森（つくば市委託事業）

参加者計 のべ 130 名

つくば市農業課に「高崎自然の森自然体験教室事業」の依頼を受け、平成21年度より高崎自然の森で「つくば里山楽しみ隊♪」を実施しています。里山の平地林が残っていることの価値や、里山は人が手入れし利用することで自然の豊かさが保たれてきたことを伝えています。5月予定だった初回を6月に延期して開催しましたが、夏休み企画「森の生きものマップづくり」はコロナの拡大で中止となってしまいました。12月には、昨年はコロナで実施出来なかった間伐体験を、地域の森林ボランティア団体の協力で実施することが出来ました。どのイベントも参加家族数を抑え、感染対策を行って実施しました。実施できたのは合計3回で参加者はのべ98名、活動を支えたスタッフ・ボランティアはのべ32名でした。

実施日	テーマ	参加者数
6月26日	第1回：ネイチャービンゴで初夏の森探検（親子対象）	47名
11月13日	第2回：秋の森探検+木の実・落ち葉アート（親子対象）	26名
12月4日	第3回：森の手入れ体験+クリスマス・オブジェづくり（親子対象）	25名



6月 ネイチャービンゴ



ゴールでビンゴの景品お渡し



11月 秋の森たんけん



12月 間伐体験

2-5. 筑波山麓自然学校（つくば市委託事業）

参加者計 158 名

平成14年度から筑波ふれあいの里の主催事業である筑波山麓自然学校の企画運営を担当しています。この事業では、参加者が筑波山麓の自然を楽しく学び、自然環境保全への理解を深めることをめざしています。年間8回実施予定でしたが、8月までに計画した4回のうち2回がコロナの影響で中止となったため、11月以降に順延も含め6回を計画したものの、さらに3回が中止となってしまいました。実施できたのは5回で、のべ参加者数は122名（申込総数964名）、活動を担ったスタッフ・ボランティアは、のべ36名でした。



6月 葉っぱ図鑑づくり

実施日	テーマ	参加者数
6月19日	サツマイモ苗植えと葉っぱ図鑑づくり	21名
7月17日	沢の生きもの観察会	19名
7月31日	発見たいけん沢遊び	中止
8月21日	虫・むし探検隊	中止
11月20日	つるをひっぱれ！ サツマイモ掘り&森探検	38名
12月18日	森の散策とクリスマス・クラフト	19名
1月11日	おもちつきとならせ餅	25名
1月23日	竹ご飯と竹工作①	中止
2月6日	竹ご飯と竹工作②	中止
2月28日	（再設定）竹ご飯と里山散策	中止
3月8日	春を探そう～ネイチャービンゴ	中止



7月 沢の生きもの観察会



11月 サツマイモ掘り



12月 クリスマス・クラフト



1月 おもちつき



1月 ならせ餅づくり

2-6. その他の環境教育推進事業

- ・筑波大学大学院自然保護寄附講座里山実習 10/18、11/15、12/13
大学院生 20 名
- ・筑波大学大学院自然保護寄附講座よりインターンシップの受け入れ
留学生 1 名
- ・筑波大学 インターン受け入れ 1 名



10月 筑波大学里山実習

3. 連携促進事業

・筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会との連携

筑波山麓で活動する個人や団体が連携して、豊かな地域資源や人材を活かした都市と農村の交流をめざし結成された筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会（GT 協議会）に幹事団体として参加しています。毎年、野村不動産㈱が来訪する田んぼの田植え・稲刈り体験と農村マルシェ等を協働で企画し開催してきましたが、今年度も、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症のため中止となりました。

・その他、他団体との連携

環境 NGO・NPO の全国ネットワークである「グリーン連合」、蝶にかかわる自然環境の保全を進める「日本チョウ類保全協会」、地域の子育てを支援するネットワーク「かるがもネット」、持続可能な開発のための教育の推進を目指す「ESD-J」に会員として参加しました。

4. 情報収集・発信事業

・TEF News の発行

A3 版両面カラーの活動報告 TEF News を年 2 回発行し、活動の様子を会員・関係機関に知らせるほか、年度ごとにまとめた年度報告書をホームページ上で公開しています。

・ホームページ・ブログ・フェイスブック

㈱ターバンに依頼して、スマートフォン対応のホームページへのリニューアルを行い 6 月に公開しました。見やすくなったと好評です。ホームページでつくば環境フォーラムの活動の紹介やイベントのお知らせをするほか、葛城大規模緑地利活用事業については、ブログ「葛城の森から」による発信を通年行っています。2020 年度は 49 回のブログを発信、フェイスブックにも投稿しています。フェイスブックでは折々の活動や自然の様子を発信をしました。

5. 環境に配慮したまちづくりの研究・提言事業

- ・つくば市文化財保護審議会への参加（天然記念物担当）10/14
- ・高崎自然の森の環境管理に関する提言
- ・環境省の OECM 推進に関わるヒアリングへの協力
- ・つくば生きもの緑地ネットワークの視察受け入れ

6. その他

【企業との連携（まとめ）】

- ・野村不動産株式会社 田んぼオーナー 活動中止 収穫した米と報告を送付
- ・メタウォーター株式会社 田んぼオーナー 谷津田保全活動は中止
- ・富士電機㈱（法人会員） 新人研修 4/8 5 名



富士電機(株)新人研修